

# 元気村での次世代型環境学習と体験学習

元気村では、森と水、自然エネルギー、森林作業体験等を通じた環境学習を行っています



# 課 題

- ・森林整備、維持保全のための公的支援の創出  
→「森林環境税」など
- ・森林管理道・作業道などの森林施業基盤の整備、高性能林業機械等による新しい森林施業の創出  
→林業経営の再興  
→環境の維持・保全 } 車の両輪
- ・新エネルギーの高値買取  
→地球温暖化問題への対応、原油価格の高騰、将来のエネルギー供給の安全確保のために
- ・バイオマス発電事業運営への公的支援の創出  
→資源の循環利用、環境保全、雇用創出のために



# 森林施業方法の検討

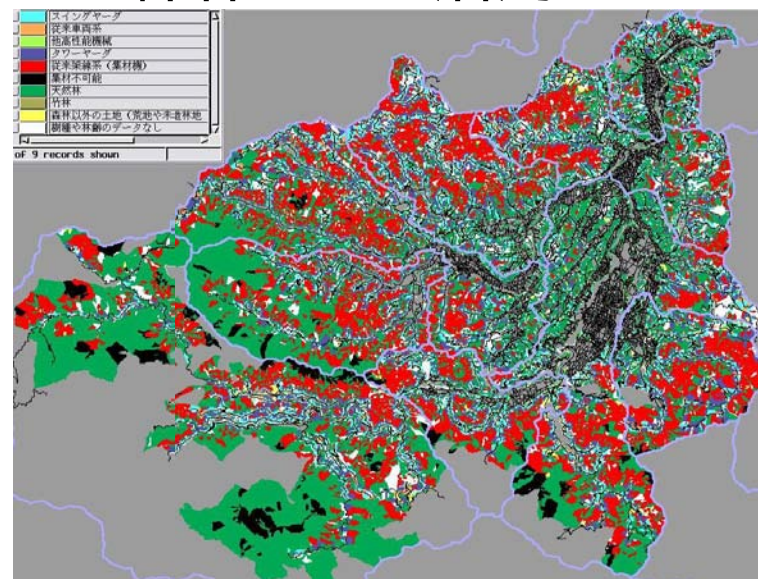
・ 効率化、コスト削減、持続性 etc

## 高性能林業機械の検討



# 持続型の森林へ

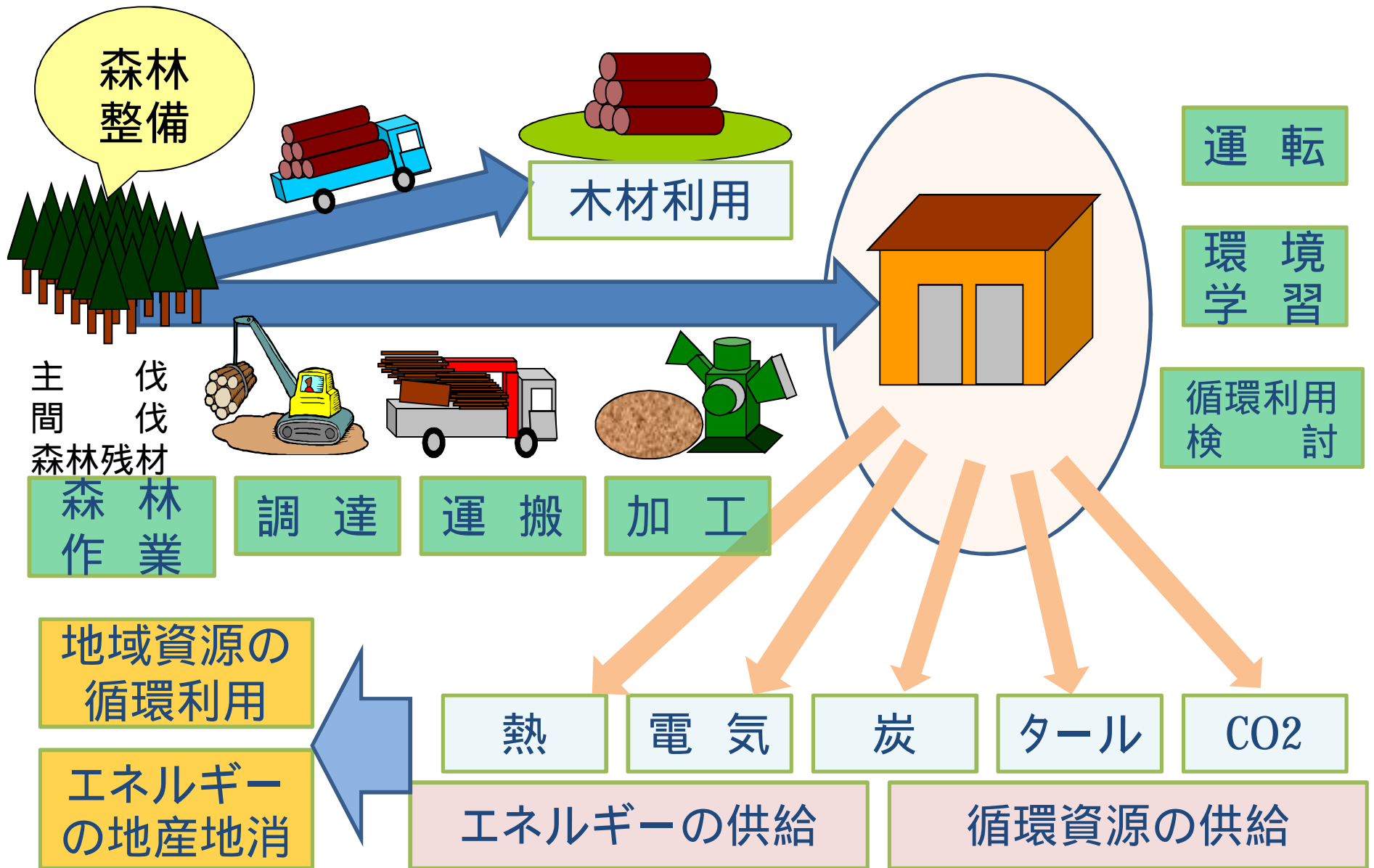
## 森林GISの活用



## 作業道等路網の活用



# バイオマス利用に伴うシステム



# さらに、循環利用・複合化 バイオマスの循環利用を促進

- 温風利用 チップ乾燥、ハウス栽培など
- 温水利用 お風呂・足湯・ハウス栽培など
- 電気利用 元気村・BDF製造など
- CO2 利用 ハウス栽培、クロレラ栽培など
- 炭 利 用 土壌改良材、  
水質浄化、脱臭 など
- タール利用 ?

出口を増やす

チップボイラー実証事業 H20年度



イチゴ栽培ハウスへ  
チップボイラーによる  
熱供給実験  
化石燃料の代替に!!





# 秩父市バイオマスタウン構想

みんなでつくるバイオマスタウンちちぶ

みんなのバイオマスを  
みんなが知って  
みんなで知恵を出して  
もっと工夫して使い

森と水の力がほとばしる元気なまち ちちぶへ

知知夫：秩父の古名（先代旧事本紀国造本紀より）

- 森を守り、水を守り、そして農地を守り、生活を支える。
- これにより、秩父市の豊かな自然環境を活かし、将来を担う子どもたちが秩父を誇りに思うような、流域の人たちから頼られるような、循環型社会の構築を進め、バイオマスタウン構想の実現を目指す。
- 木質・草本系バイオマスを中心に、家畜排せつ物、生ごみ・食品加工残渣、廃食用油の活用を進めていく。

平成21年2月27日 農林水産省公表





秩父のブナ原生林

## 人を潤す水がめ 秩父のブナ林を歩く

- 地球温暖化の影響で、白神山地のブナ林が消滅するという話も聞く
- 秩父山地に生息するブナ林も同じ予測ができる
- 古くは富士山講、三峰講、鎌倉道として、人々の往来に使われた都県を超える「仙元峠」
- この峠をエコルートとし、多くの人に文化の継承とともに、エコ意識を啓発していきたい

注；仙元峠は、秩父市と奥多摩町を結ぶ峠

ご清聴ありがとうございました